

新幹線プレス

2021年4月15日 No.513

発行者 杉澤秀則

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

『令和3年度 新幹線鉄道事業本部 実行計画』経営協議会開催①

車両所に関する問題は持ち越し

車両所における報告書の作成は過去の事故事例の対策である！！ 後日確認して回答する！！

組合：東京の車両所における各種報告書の作成・整理が煩雑になっており、超勤も多く発生している。仕業検査車両所では、工具管理や報告書で準備および報告作業が複雑になっており、実際の調査・修繕作業より付帯作業の時間が多く取られている。作業内容を精査し、報告書を簡素化すること。

工具を使用する作業はすべて二人作業としているが、煩雑な業務遂行となっている。以前のように一人で十分な簡易な作業は一人作業とすること。

会社：1月に発生したスパナの一時紛失に対する対策である。詳細については確認して後日回答する。

組合：対策は車両部としての全体の取り組みなのか、または所独自の取り組みなのかもあわせて回答すること。

N700S (J13 編成) 以降車椅子スペースが6席に拡大！！ 運用は7月以降順次・既存の編成の改良計画は今のところ計画なし！！

組合：車椅子スペースが拡大されるとマスコミで大々的に報道されているが、導入計画を含め詳細を明らかにすること。

会社：昨年10月に法令の改正が行われた。2021年の7月以降新製車両は車椅子スペースが6席分に増える。N700S (J13 編成) から導入する。

運用は当日の朝に決定するので確認してからの発売となる。

組合：既存する編成の改良予定はあるのか。

会社：現在のところ、改修するともしないとも決まっていない。

新幹線地本のブログを開設しました！

jrcushinkansen.sakura.ne.jp

携帯でQRコードを読めばみられます

